

フィリピン研修 最終日

～楽しかった2週間の思い出は忘れない～

Day14 9月21日、最終日担当の野川です。

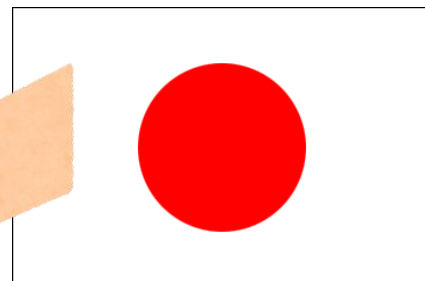
DLSUメンバーとの大々的なお別れ会はすでに前日に行い、今日の主な内容といえば帰国するだけとなりました。

朝

ホテルのチェックアウトを9:45までに行えとのこと。この1週間お世話になったホテルとはもうお別れです。「ありがとう！ホテルの皆さん！とても快適に過ごせました！」

車に乗り込み、あっという間にマニラの空港に到着していました。するとそこには見送りに来ていたDLSUメンバーの友がいました。

「楽しいフィリピン研修になったよ！ありがとう！」私としては初めての海外、不安が大きかったけど親切な彼らのおかげで素晴らしい経験になりました。

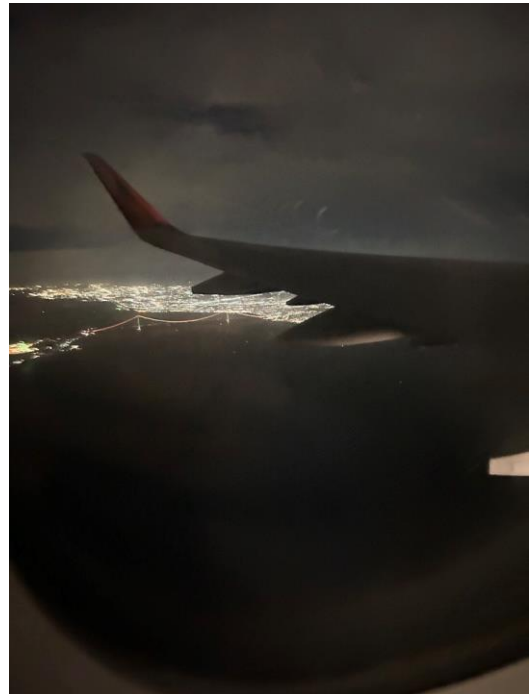


日本へ

午後2時20分、定刻通りの離陸となりました。

行きと同じく、機内は冷房がよく効いており私には寒かったです。機内食が選べ、私は米があるものを選ばせていただきました。オツイ! オツイ!

4時間弱のフライト。1時間の時差も含めると、日本に到着するころには夜になっていました。



飛行機から眺める明石海峡大橋

2週間で感じた違い

「学校での違い」

- すべての教科の授業の内容も、課題も、先生からの連絡も、デジタル上でまとめられている。→わかりやすい
- 教科ごとの授業時間が異なり開始時間もバラバラ。
- 学生自身が決める自由さというのが感じられる

〈例〉

どちらのDLSU付属高校も広い敷地を誇る故、食べられるところが複数箇所あり、学生に選択肢をもたらせている。



マニラキャンパスの模型

「都市での違い」

- ・しっかりとした施設（学校、モールなど）だと必ずセキュリティーマンがおり、だいたいカバンの中身チェックが行われる。
- ・都市部から離れるほど信号機が少なくなる。一番驚いた信号機のない場所は高速のインターチェンジで、たくさんの車を人が手旗信号でさばっていた。



英語が通じるかは不安だったけど、伝えようという気持ちがあれば、英語ができる彼らが私の言いたいことをくみ取ってくれたし、いざというときには翻訳機も活用したのでコミュニケーションはとれて安心しました。

楽しい時間は過ぎていくのが早く、この2週間の研修はあっという間に感じられました。

関係各位に感謝を、それではみなさんさようなら～！

(編集) 2 C 野川悠悟